

5/10(土)~11(日)

アメリカ切手展 2025 america'25

✓概要

当切手展は、アメリカ郵趣研究会が毎年開催しているものです。毎年企画テーマを決めて、深く掘り下げた作品を何点か展示していますが、今年の企画テーマは、①「プロミネント・アメリカン・シリーズ発行60周年」、②「アメリカーナ・シリーズ発行50周年」、③「太平洋航空路線開設90周年」の3つです。

アメリカは1847年7月1日に最

初の切手①を発行しています。そこから178年にもなるアメリカ切手の流れを感じていただけるよう、最初の切手から現行切手に至る普通切手の展示も行っています。

また、会員の作品発表の場として、1フレーム作品も展示しています。会員がそれぞれの好みで集めたバラエティーに富んだアメリカ切手の作品を展示しますので、それぞれの切り口やマテリアルをご覧くださいだければと思います。

✓展示内容・みどころ

「現行切手」のイメージが強いプロミネント・アメリカン・シリーズ②・③も、発行から60年が経ちました。このシリーズは同じ切手でも発光切手と不発光切手に区別することができ、スコットカタログもサブナンバーで区別しています。不発光切手となる局型プリキャンセルは、近年カタログ評価が驚くほど高くなっているものもあり、入手困難になってきています。

また使用例でも、切手発行後の料金改定により、1枚貼の適正使

用期間が3ヵ月程度しかないものもあります。そういった勘所をぜひ見ていただきたいと思います。

一番切手から現行までの普通切手の展示では、最初のクラシックの部分で、2023年に本誌で「コレクションづくり奮闘記」を連載した姉川さんが担当しています。ご本人も会場にスタッフとして来ているので、興味のある方はぜひ質問してみてください。

さらに毎年好評なのが、アメリカで実際に使われていた手動押印機による押印体験です。お好きな



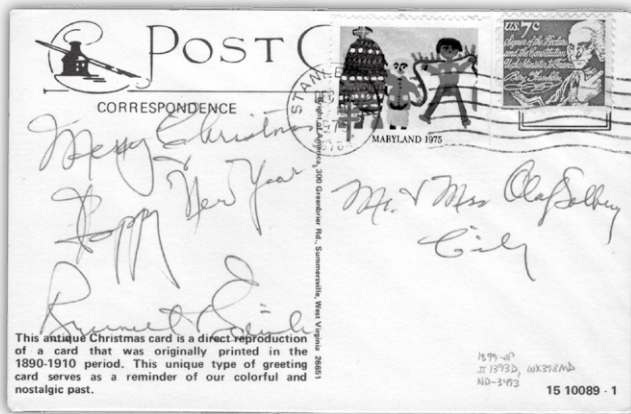
会期 | 2025年5月10日(土) - 11日(日)
会場 | 3階スペース1, 2
時間 | 10:30 - 17:00 (11日は16:00まで)

はがきや封筒をお持ちいただいて、自分でハンドルを回して消印を押すことができます。

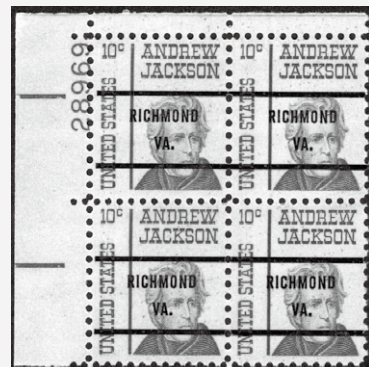
写真の撮影もOKです。気になる切手があれば、スマホなどで写真を撮って家でもじっくり鑑賞してください。皆さんのご来場をお待ちしています。(文・小林伸佳)



①アメリカ1847年発行の切手。



②7cフランクリン貼葉書。



③10cジャクソン版番号ブロック。

※10日(土)14時からプロミネント・アメリカン・シリーズ展示作品解説を行います。